

## 事項一二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件閔与等ニ閔スル件

一一一 二月十五日

寺内朝鮮総督大臣ヨリ  
寺内朝鮮総督宛(電報)

朝鮮総督暗殺陰謀事件犯人ノ特赦ニ閔シ問合  
ノ件

第一号

陰謀事件関係者尹致昊等六名今般特赦セラレタル趣新聞電報アル所珍田大使ヨリ問合ノ次第モアルニ付事情詳細電報アリタシ

一一一 二月十六日

寺内朝鮮総督ヨリ  
寺内朝鮮外務大臣宛(電報)

朝鮮総督暗殺陰謀事件犯人ノ特赦ニ閔シ事情  
報告ノ件

第一号

十五日貴電第一号ニ閔スル事情左ノ如シ

尹致昊(朝鮮音羅馬字綴 Yunchiho) 安泰國(An-tai-ko) (An-taik) リン・シセイ (Limchichung) 梁起鐸(梁起鐸正) (Yong-taikuk) リン・シセイ (Limchichung) レウキタク (Yong-taikuk)

kitaitk) リインカン (Yinhuhan) 及ギョクカンヒン (Ok-kwanpin) ハ明治四十三年九月ヨリ十二月ニ亘リ朝鮮総督暗殺ノ暴挙ヲ企テ其目的ヲ達スルニ及ハスシテ處刑ヲ受ケ各懲役六年ニ処セラレ昭憲皇太后ノ大喪ニ方リ刑期四分ノ一ヲ減刑セラレ大正六年十一月二十四日ニ刑期満了スル者ナル處彼等ガ右ノ暴挙ヲ企テタルハ畢竟我朝鮮扶掖ノ真意ヲ悟ラス殊ニ併合ノ趣旨ヲ誤解シ朝鮮人民ハ之カ為俄ニ悲境ニ陥ルヘシト暴斷シ國運変遷ノ際不満ノ念ニ堪ヘス事端ヲ啓キテ国内ノ人心ヲ刺戟シ兼テ世界ノ同情ヲ喚起セントノ迷想ニ出デタルニ過キシソテ其間毫モ私怨ヲ挾ミタルニアラズ仮ニ當時総督暗殺ノ目的ヲ達シタリトスルモ朝鮮統治ノ基礎已ニ確定シ施政上何等ノ影響ナカリシコト明ナリ殊ニ事未然ニ發覚シテ處刑セラレタルモノニシテ爾來彼囚徒等謹慎能ク獄則ヲ守リ衷心改悛ノ状アリ而シテ併合以後既ニ五年ニ及ヒ人心靜穩ニ帰シ新政ノ主旨一般ニ徹底シタル今日彼等囚徒ヲ放免スルモ再ヒ不逞ノ行動ニ出ヅル虞

ナキヲ認メ客年末右ノ事情ヲ上奏シ寛典ヲ仰ギタルニ本月十三日特赦ノ恩典ヲ賜ハリタル次第ナリ依テ同日京城監獄

典獄ヲシテ彼等囚徒ニ特赦ノ聖旨ヲ伝達スルト同時ニ大要左ノ趣旨ニ依リテ訓諭セシメタリ

今ヤ新政実施以来將ニ五周年ナラムトシ皇化全土ニ普ク

人心漸ク静穩ニ帰シタリト雖時ニ頑迷不靈ニシテ我朝鮮統治ノ真意ヲ了解セス国外ニ奔リテ非謀ヲ構ヘ不穏ノ言

動ヲ逞クスルモノアルノミナラス国内ニ於テモ此輩ノ誘惑ヲ受ケ妄想ヲ抱クモノナキニアラス然レトモ朝鮮統治ノ基礎確定セル今日如何ナル陰謀ヲ企テ幾度總督ヲ殺害スルモ大局ニ於テ何等ノ影響ヲ及ボサザルノミナラス其結果ハ何等益スル所ナク地及住民ヲ以テ属

ルニ過キス抑朝鮮ハ往年秕政ノ弊ヲ受ケ綱紀弛廢シ民衆疲憊ニ陥リタルニ今ヤ百度皇張シ秩序恢復シテ國利民福

ノ増進ヲ見ルニ至レルハ一ニ新政ノ惠沢ニ因ラサルハナシ殊ニ朝鮮施政ノ方針ハ他国ガ其殖民地及住民ヲ以テ属地隸民ト為スト異リ朝鮮人ヲ扶掖シテ文明ノ域ニ進メ之

ヲ以テ帝国ノ臣民トシテ其安寧幸福ヲ圖ルニアルハ從前屢々言明シタル所ニシテ五ヶ年間ニ於ケル施政ノ実績ニ

一一一 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件閔与等ニ閔スル件 一一一 一一一一

第二九号

一一一 二月十七日

加藤外務大臣ヨリ  
在米國珍田大使宛(電報)

朝鮮總督府暗殺陰謀事件ノ犯人六名特赦ノ事  
情通報ノ件

貴電第五五号ニ閔シ尹致昊、安泰國、林蚩正、梁起鐸、李寅煥、玉觀彬ノ六名ハ明治四十三年朝鮮總督暗殺ヲ企テ當

一一一 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件閔与等ニ閔スル件 一一一 一一一一

三五三

一一 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件閣与等ニ閑スル件 二三四

刑セラレタルモ昭憲皇太后ノ大喪ニ方リ刑期四分ノヲ減

刑セラレ大正六年十一月二十四日刑期満了スル者ナル処爾  
來彼等ハ謹慎衷心改悛ノ状アリ一面併合以後既ニ五年ニ及

ヒ人心聖恩ニ帰シ新政ノ主旨一般ニ徹底シタル今日彼等ヲ

放免スルモ再ヒ不逞ノ行動ニ出ヅル虞ナキコト認メラレ二

月十三日特赦ノ恩典ヲ賜リタル次第ナリ一同ハ此恩典ニ接

シ無限ノ聖恩ニ感激シ感極リ声ヲ放チテ感泣セルモノアリ

殊ニ當日ハ旧暦十二月三十日ニシテ各帰宅ノ上正月ヲ迎フ

ルヲ得ルコトトテ一層歡喜ノ情ヲ惹起シタルカ如シ尚彼等

ハ何レモ農業又ハ商業ニ從事スル旨ヲ申出デタリ右貴地方

新聞紙ニモ御見込ニヨリ適宜発表セラレ差支ナシ

~~~~~  
新報ニモ御見込ニヨリ適宜発表セラレ差支ナシ

二三四 二月二十五日 下岡内務次官ヨリ

松井外務次官宛

朝鮮總督暗殺陰謀事件犯人尹致昊等六名ノ特

赦執行ニ閑スル寺内朝鮮總督報告写送付ノ件

附屬書 右朝鮮總督報告写

内務省秘第三七九号

(二月二十六日接受)

大正四年二月廿五日

下岡内務次官(印)

特赦狀ヲ讀聞ケタル上之ヲ交付シテ聖旨ヲ傳達シ次テ本官

ノ訓示ニ基キ特赦ノ趣旨及出獄後ノ行動ニ付懇篤ナル誠諭

ヲ與ヘ又高等法院檢事長ヨリ訓諭スル所アリタルニ彼等一

同ハ孰レモ天恩ノ優渥ナルニ感激シ恐懼ノ餘リ遂ニ涕泣措

ク能ハサルニ至リ今後ハ各專心實業ニ從事シ誓テ聖旨ニ戻

ラサラムコトヲ期スヘキ旨ヲ申出デタリ釋放ノ際彼等ノ申

出デタル歸住地及將來從事セムトスル職業及出獄ノ際ニ於

ケル健康狀態等ハ左記ノ通ニ有之候條此段及報告候也

左記

京畿道京城府堅志洞六十八番地

農業 尹致昊

平安北道定州郡葛山面益城里九統三戸

農業 李寅煥

平安南道江西郡雙龍面新慶里

殖產事業 梁起鐸

平安南道中和郡東頭面戊辰洞一統七戸

商業 玉觀彬

尹致昊以下六名ハ我カ朝鮮併合ノ眞意ヲ了解セス之力爲朝

鮮人民ハ頓ニ悲境ニ沈淪スヘシト誤想シ憤慨ノ極明治四十

松井外務次官殿

三五四

本月十六日附ヲ以テ朝鮮總督ヨリ本件報告有之候ニ付別紙  
写及御送付候也

(附屬書)

朝鮮總督報告寫

報告

特赦執行之件

懲役四年七月十五日 尹致昊

懲役四年七月十五日 李寅煥

懲役四年七月十五日 梁起鐸

懲役四年七月十五日 玉觀彬

懲役四年七月十五日 安泰國

懲役四年七月十五日 林蚩正

懲役四年七月十五日 朴成善

各六名ニ對スル特赦執行ノ件ハ昨十五日不取敢電報ヲ以テ

及報告置候處本月十三日右特赦御裁可ノ御通達ニ接スルヤ

直ニ京城監獄典獄ニ特赦狀ヲ送付スルト同時ニ別紙寫之通

誠諭之旨趣ニ付訓示ヲ爲シ且ツ高等法院檢事長ニ赦典執行

ノ際臨場シテ訓諭ヲ與フヘキコトヲ命シ同日午後四時四十

分京城監獄ニ於テ典獄ハ一同ニ對シ恩赦施行ノ旨ヲ告知シ

大量監移監取容時ノ日出獄時ノ体量増

大正三年二月十八  
日大邱監獄ヨリ當  
大正四年二月十三  
日大邱監獄ヨリ當  
移監取容時ノ日出獄時ノ体量増

一二貫五〇〇 一三貫〇〇〇 、 五〇〇  
一六、七五〇 一七、三五〇 、 六〇〇  
一三、〇五〇 一三、三〇〇 、 二五〇  
一三、一〇〇 一三、五〇〇 、 四〇〇  
一六、九〇〇 一六、六〇〇 △、三〇〇  
一三、五五〇 一三、二五〇 △、三〇〇  
△、三〇〇 玉  
李  
寅  
煥  
梁  
起  
鐸  
致  
泰  
正  
國  
昊

(別紙)

朝鮮總督ヨリ京城監獄典獄ニ對スル訓示

京城監獄典獄

一一 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件閣与等ニ閑スル件 二三四

三五四

一二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件闇与等ニ関スル件 二三四

二五六

三年九月ヨリ十二月ニ亘リ朝鮮總督ヲ暗殺シ以テ國內ノ人  
心ヲ刺戟シ兼ネテ世界ノ同情ヲ喚起セムトノ謀計ヲ運ラシ  
タルモ遂ニ其ノ目的ヲ達スルニ及ハシテ處刑ヲ受ケ各懲  
役六年ニ處セラレ昭憲皇太后ノ大喪ニ方リ刑期四分ノ一ノ  
減刑恩典ヲ受ケタルモ尚今後二年九ヶ月餘ノ刑役ニ服シ大  
正六年十一月二十四日ニ至リ刑期滿了スル者ナル處右等囚  
徒ハ爾來謹慎能ク獄則ヲ遵守シ衷心改悛ノ狀アルヲ以テ我  
カ天皇陛下ヘ至仁ノ叡慮ヲ以テ今回尹致昊以下六名ノ情狀  
ヲ懲ミ特赦ノ恩典ヲ下シ賜ヒタリ彼等ノ中ニハ先覺者ヲ以  
テ自ラ居リ名聲ヲ内外ニ博シタル者ナキニ非ス其ノ言動ノ  
影響スル所尠カラスト認ムルヲ以テ特赦ノ聖旨ヲ傳ヘ之ヲ  
執行スルニ方リテハ特ニ懇切ナル誠告ヲ加フルヲ要ス今ヤ  
新政實施以來將ニ五週年ニ垂ントシ拓地撫民ノ皇化一般ニ  
徹底シ人心漸ク靜穩ニ歸シタルヲ疑ハスト雖時ニ頑冥不靈  
ニシテ朝鮮統治ノ眞意ヲ了解セス國外ニ走リテ非謀ヲ構ヘ  
不穏ノ言動ヲ逞ウスル者アルノミナラス國內ニ於テモ此ノ  
輩ノ誑惑ヲ受ケ架空ノ妄想ヲ抱ク者ナキニ非ス然レトモ朝  
鮮統治ノ基礎既ニ確立シタル今日如何ナル陰謀ヲ企テ縱令  
幾度ヒ總督ヲ殘害スルモ大局ニ秋毫ノ影響ヲ及ホスヘキニ

非ス唯其ノ結果ハ政府ヲシテ餘儀ナク警備ヲ嚴重ナラシメ  
延テ國民融和ノ政策ニ支障ヲ與フルニ過キス其ノ寸益ナク  
シテ却テ不測ノ殃ヲ釀スヘキハ數ノ見易キ所ナリ抑朝鮮ハ  
嘗テ秕政ノ弊ヲ承ケ綱紀弛廢シ民衆疲憊ニ陷レルモノ今ヤ  
百度皇張シ秩序回復シテ國利民福ノ増進ヲ見ルニ至レルハ  
一二新政ノ惠澤ニ因ラサルハナン殊ニ朝鮮ニ於ケル施政ノ  
方針ハ他國カ其ノ殖民地ニ對スルカ如ク之ヲ以テ屬地隸民  
ト爲サムトスルニ非斯土ヲ開拓シ斯民ヲ扶掖シ共ニ之ヲ  
文明ノ域ニ進メ帝國ノ版圖臣民トシテ彼我ノ安寧幸福ヲ計  
ルニ在ルハ啻ニ屢々宣明シタル所ナルノミナラス五年間ニ  
於ケル施政ノ實績ニ徵シテ瞭カナリ尹致昊以下六名ハ其ノ  
智能固ヨリ克ク此ノ間ノ真相ヲ透觀スルヲ難シトセサルヘ  
ク殊ニ既ニ前非ヲ悔イ改過遷善ノ實ヲ舉ケタルニ鑑ミ其ノ  
出獄後ハ謹慎自ヲ持シテ再ヒ其ノ方向ヲ誤ルコトナキノミ  
ナラス必ス正道ニ就キテ順良謹直ノ人トナリ以テ無限ノ天  
恩ニ應フルノ誠意ナカルヘカラス貴官ハ特赦ノ聖旨ヲ傳達  
スルニ方リ如上ノ旨趣ヲ以テ懇篤ニ誠諭ヲ與フヘシ  
右訓示ス

大正四年二月十三日

朝鮮總督伯爵 寺内正毅

一一一五 三月三十一日 在米國珍田大使ヨリ

加藤外務大臣宛

朝鮮總督暗殺陰謀事件犯人尹致昊等六名特赦

二関シ米国内外國伝導團体等へ通報ノ件

附屬書 右通報ニ対スル謝状写

公第九五号

(四月二十九日接受)

大正四年三月三十一日

在米

特命全權大使子爵 珍 田 捨 己 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

御承知ノ通宣川陰謀事件ニ關シテハ布教上ノ關係ヨリシテ

當国外國伝導團体其他ノ方面ニ於テ不尠注意ヲ払ヒ事件審

理中及裁判確定後ニ亘リ諸方面ヨリ本使ニ種々申出ラナシ

タル事実ハ之ヲ重ナル向ヘ通知スルコト可然ト思料シタル

ニ付電請ニ及ヒタルニ貴電第二九号ヲ以テ御回電有之則チ  
タル關係モアリ客月十三日尹致昊外五名特赦ノ恩命ニ接シ

本使ハ右御回電ノ趣旨英訳ヲ添ヘ當地中央議會上院議員  
「ホーク・スマス」氏初メ伝導團体等ニ通報シ且夫々關係

一二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件闇与等ニ關スル件 二三四

二四五

宗教團ノ間ニ周知セシムル様配意方申添ヘ置キタル処何レ  
モ謝意ヲ表シ來リ一般ニ寬仁ナル聖旨ニ對シ深ク欽仰ノ意  
ヲ表シ候御参考迄右ニ閔スル諸來信寫茲ニ及御送付候ニ付  
御閱悉相成度尚前記貴電ニハ當方新聞紙ニモ本使見込ニ依  
リ掲載差支ナキ旨附記シアリタレトモ右特赦ノ事實丈ハ已  
ニ新聞通信トシテ顯ハレ一般新聞紙トシテハ此カル事件ニ  
關シ其以上詳細ヲ載スルノ余地ナカルベシト認メタルニ付  
此儀ハ差控ヘ候此段併セテ申進候 敬具  
追シテ茲ニ添付書翰以外尚美以教會派外國伝導協團々長  
「ウイルソン」監督ヨリモ鄭重ナル謝状ニ接シ候右為念  
申添候也

(附屬書)

尹致昊等特赦ニ閔スル通報ニ対スル上院議員「スマ  
ス」氏外國伝導團体ヨリノ謝状写 (一) (二) (三)

(四)

(一)

UNITED STATES SENATE,  
WASHINGTON, D.C.

February 25th, 1915.

Viscount Sutemi Chinda,

Ambassador from Japan,

二五七

111 朝鮮宣川基督教徒へ懲諫事件關与等の聞く件 111H

Resolved, By the Methodist Preachers Meeting  
of the Atlanta District Methodist Episcopal, South

Your letter of February 20th, with enclosure,  
with reference to the pardon for Baron Yun Chiho,  
received. Please accept my most sincere thanks for  
the courtesies and kind consideration shown by you  
in this matter.

Yours sincerely,

(Signed) Hoke Smith.

(11)

BOARD OF MISSIONS

METHODIST EPISCOPAL CHURCH, SOUTH

W.W. Pinson, General Secretary

810 Broadway, Nashville, Tenn.

February 27, 1915.

THE BOARD OF FOREIGN MISSIONS

of the

PRESBYTERIAN CHURCH IN THE U.S.A.

156 Fifth Avenue

New York

March 2nd, 1915.

His Excellency,

I have the honor to be,  
(Signed) W.W. Pinson.

Sincerely yours,

(111)

Imperial Japanese Embassy.

Washington, D.C.

Dear Mr. Ambassador:

Allow me to thank you for your letter of Febru-

ary 20th, with enclosure, bringing the very pleas-

ing notice of the amnesty granted by the Emperor

fication and causes gratitude to God, and we hereby record our thanks to the Japanese Authorities for so generously granting amnesty to our Brother.

Resolved, That a copy of this action be transmitted to the Japanese Minister at Washington.

J.W. Quillian,

Clement C. Cary.

(Signed) C.V. Weathers, Secretary.  
East point, Ga.

~~~~~  
111K 九月二十一日 朝鮮總督府警務總監部  
松井外務次官宛  
歐洲大戰ハ遠東ニハ韓國獨立トハ謀議セル成樂

鑑等檢舉ノ闕ハ通報ハサ

附屬書 I 成樂聲作成ノ警覺書

II 中韓詔邦條約案  
III 邊鋸鵬作成ノ在外鮮人ニ与フル檄文

IV 成樂聲等同志間ノ通信暗号  
V 邊鋸鵬ニ送ル信書

(11)

March 22nd, 1915.

Resolved, By the Methodist Preachers Meeting

of the Atlanta District Methodist Episcopal, South

that the news of the release of our Brother, Baron Yun, from prison in Japan, fills us with great grati-

This act of clemency will be appreciated by a large circle of American friends of Baron Yun, and I have every reason to believe that your Government will have no reason to regret its extension in this case.

111 朝鮮宣川基督教徒へ懲諫事件關与等の聞く件 111K

三五九



ニ決シ仁沢ハ李太王ニ馴永ハ李壇公ニ接近運動ヲ鳳来ハ両班間ニ同志ヲ求ムル運動ヲ担任シタリ之レ実ニ七月七日ヨリ同月十五日迄ノ間ニシテ爾後同日ヨリ二十七日本件検挙ニ至ル迄ノ間ニ左ノ行動ヲ為シタリ

### 一、李太王ニ接近運動

仁沢ハ七月十七日頃勝鉉ヲ訪問シテ樂馨カ在外同志ノ使命ヲ帶ヒテ運動ニ來リタルコトヲ告ケテ李太王ニ接近ノ方法ヲ諮詢ニ勝鉉ハ直ニ同意シ予テ相知ル慶昌ヲシテ德寿宮内丞（李太王ノ身辺雜役ニ服スルモノ）徳臣ニ事情ヲ告ケシメテ勝鉉方ニ会セシメ互ニ其ノ方法ヲ謀議シテ仁沢ニ通知セルヨリ同人ハ樂馨ノ作成セル警覺書按（別紙第一号）ヲ勝鉉ニ示シテ同意ヲ得「中独英露カ日本ヲ聯攻セムトスルノ大勢」ト表題シ冑元之ヲ淨書シテ勝鉉ヲ經テ徳臣ニ渡シ徳臣ハ七月二十六日午后十二時頃德寿宮成寧殿南側李太王居室ニ於テ在外李相高成樂馨ノ徒カ國權恢復運動ニ努メツツアルコトヲ述ヘ携フル所ノ書面ヲ呈出シ且陛下ノ所思満足ナラハ更ニ第二ノ方策信書ヲ奉呈スヘキコトヲ附言セルニ同王ハ該書面ヲ見テ

駆永ハ男爵金思潛ノ從弟ニシテ旧知タル思洪ヲ同志トシ同人ト共ニ金男爵ニ面シテ樂馨ノ運動ヲ告ケ且李壇公ニ取リ次カレンコトヲ以テセシニ同男爵モ之ニ同意シ李壇公ニ諮詢ニ頗ル同意ナルモ身辺日本巡察ノアルヲ以テ互ニ相逢フハ危險ナレハ外阿父タル自分ニ協議セヨトノ答アリト告ケ樂馨ニ面会ヲ求メタルヨリ樂馨思洪等相携ヘテ訪問シ男爵家中座敷ニ於テ会見シ樂馨ヨリ在外同志運動ノ顛末ヨリ國權恢復ノ曉ニハ李王家ヲ帝王トシテ仰クヘキヲ以テ李太王若ハ同王ノ意ヲ承ケタル李壇公署名ノ支那及独逸ト将来提携スルコトヲ密約スルノ全權ヲ与フヘキ委任状ヲ下付セラレントコトヲ以テシ携フル所ノ中韓誼邦條約按（別紙第二号）ヲ渡シタルニ金男爵ハ之ヲ受ケテ同意ヲ表シタリ

### （因ニ金男爵ハ有爵者ナルヲ以テ檢事局ニ於テ被告トシテ勾留セリ）

#### 三、旧両班間ニ同志ヲ求ムル運動

鳳来ハ本運動ヲ担任シ別紙添付ノ第一号即チ警覺書写ヲ作成シテ尹用求（男爵ヲ授ケタルモ辞シタルモノ）及吳正根（両班ニシテ資産アリ信用アルモノ）ニ示シテ同志タランコトヲ求メ一面樂馨ヲシテ閔泳達（男爵ヲ授ケラレタルモ辞シタルモノ）ニモ書面ヲ送ラシメントシタルモノニシテ此ノ用ニ供シタル警覺書及沫達ニ送ラントシタル信書ヲ發見押収セリ

#### 第三、本件運動ノ原因

樂馨柳東說（李聖復ト支那名ニ偽名シツツアリ）等ハ昨大正三年青島ニ集リ新聞或ハ雑誌ヲ刊行シテ不平者ノ糾合ヲ企図シツツアル際偶々帝国ト独逸間ニ戰争起リタルヨリ退去シテ北京ニ出テ東說ハ上海ニ去リシカ本年三月頃東說ヨリ上海ニ同志会合ノ企アルヲ以テ來会スヘキノ通知アリタルヲ以テ之ニ赴キ英租界宝昌路朴殷植（大韓毎日申報記者トシテ排日記者ヲ掲ケタルモノ）申主植（陸軍副尉タリシコトアリ元大韓協会有力者ニシテ支那第一

支那ニ在リテハ上海、漢口、奉天、長春、安東県、及延吉府ニ朝鮮ニ在リテハ京城、元山、平壤、会寧、羅南ニ設ケ財錢、通信連絡、団員募集ヲ開始スヘキコトヲ協議シ本部長ニ李相嵩ヲ推シ其ノ下ニ財政、交通、外交部ヲ置キ外交部長ハ成樂馨交通部長ハ柳東説財政部長ハ李春日当ルコト上海支部長ハ申圭植ヲ監督ハ朴殷植トシ長春支部長ニハ李東暉、延吉支部長ニハ李同春、会寧支部長ニハ朴定來（北京ニアルモノナリト）羅南支部長ニハ姜載厚ヲ推スコトニ定メタリ而シテ本運動開始ト共ニ要スル費用ハ支那革命党ノ額ニ倣ヒ寄附其ノ他ノ徵募方法ニヨリ釀金スルハ勿論海上ニ於テハ海賊陸上ニ於テハ強奪ヲ為スモ妨ケサルモ最モ必要ナルハ党首ヲ定ムルニアルヲ以テ同志中朝鮮ニ潜入シ李太王ニ連絡スルヲ急務トスト云フニ決シ樂馨之ヲ担任シ邊錫鵬ニヨツテ計画スヘキモ樂馨錫鵬間ハ信書ノ往復シタルノミニテ未タ面識ナキヲ以テ劉鴻烈ヨリ紹介状ヲ郵送シ置クコトシ又革命団規則及趣旨書ハ朴殷植起草スルコトニ協議成立シタリ樂馨ハ前顯鮮地潛入ノ任務ヲ担当シタル結果先発シテ北京ニ出テ曹成煥（曹煜ト変名ス明治四十五年桂公渡欧ノ

## 第四、不平者從来ノ運動

本件ハ前顯ノ如ク昨大正三年十二月上海謀議ニ其ノ源ヲ發シタルノミナルカ如キモ尼沢、馮永等ノ自白ニ基キ更ニ調査ノ歩ヲ進メ錫鵬方枕中ニ縫ヒ込ミアリタル書類ヲ発見セリ

此ノ発見ノ書類ニヨレハ錫鵬等ノ不平者ハ從来鴻烈ヲ通

シテ在上海不平者ト氣脈ヲ通シツツアリタル事実歷然タルモノアリ今其ノ二三ノ証拠ヲ擧用セハ即チ昨大正三年旧五月錫鵬ハ在外鮮人ニ与フル檄文（別紙第三号）ヲ作成シテ鴻烈ニ送リ上海ニ於テ印刷シテ各地ニ配布セシメ又其ノ頃鴻烈ヨリ露領支那領在留同志數及銃器彈薬數（別紙第四号）ヲ通報シ來リタリ加之既ニ符号（別紙第五号）ヲ設ケ互ニ通信シタル事實アリ又錫鵬、樂馨間ハ面識ナシト雖鴻烈ノ媒介ニヨツテ成友善ト称シ信書（別紙第六号昨年十二月一日付）ノ往復ヲ為シツツアリタルモノニシテ予テヨリ斯ル行動ヲ企テツツアリタル不逞ノ徒ニシテ本件カ原因ナクシテ突然発シタルモノニアラサルコトヲ知ルヲ得ヘシ

## 第五、各不平者ノ経歴

○金思濬ハ併合ノ際男爵ヲ授ケラレ又其ノ女ハ李炯公妃ニシテ家ハ名門ニ屢シ旧韓國ノ時ニハ属々重要ノ官職ニ歷任シ長子ハ現ニ李王職事務官ニシテ李炯公家ニ勤務中ナリ

リ

○金勝鉉モ亦名門ニシテ官職ニ任セラレタルコトナキモ其

ノ女ハ閔妃殂落後李太王妃（當時ノ皇后）ト為ルノ約整

一二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件関与等ニ關スル件 二三六

三六五

○邊錫鵬ハ大院君ノ信籠ヲ得同君執政當時ハ勢力家ニシテ東学党乱ニハ陸軍参尉ニ任セラレテ討伐ニ從事シ正三品ニ叙セラレ明治三十年ニハ親日党国事犯（大院君派）トシテ十五年ノ流刑ニ處セラレ明治四十年讓位ノ際大赦セラレ併合ノ際ニハ一千円ヲ恩賜セラレタルモノナリ

○金胄元モ両班ニシテ軍部經理局第一課長三等監督（參領相当）黃海道延安郡及全羅南道玉果郡守ニ歷任シ正三品

タリ併合ヲ償リテ西間島ニ移リ爾來滿洲方面ヲ徘徊シツ

ツアリタルモノナリ

○沈仁沢、両班ニシテ中枢院議官正三品タリ

○鄭駟永、雜輩ニシテ李太王ノ信用ヲ受ケ宮内府電話課技手及技師ニ任セラレ正三品タリ

○朴鳳來、両班ナルモ宮内主事タリシコトアルノミニテ雜輩ナリ

○廉徳臣、微賤ノ者ナリ曾テ陸軍正校（特務曹長）タリシカ明治四十年解隊ノ際免職セラレ叔母白姓女カ李王家ノ使用人ニシテ白尚宮ト称シ其ノ緣故ニヨリ李王家ニ使用セラレ李太王身側ノ雜役ニ服シ多少國語ニ通シルヨリ同王ノ意ヲ承ケ形勢密偵ニ從事シツツアリタル形跡アルモノナリ

○李慶旺、身分ナク所謂神農遺業ヲ称シテ医ヲ業トシ現今医生タリ金勝鉉方ニ出入シテ知遇ヲ受ケツツアリタルヨリ之ニ加担シ勝鉉、徳臣間ノ使ヲ為シタルモノナリ

第六、調査進行ニヨリ知得セル事實中注意ヲ要スルト認ムル事項

### 一、成樂馨ノ陳述

霖、段芝貴等ト知己トナリ第二次革命ノ際ハ河南江西ニ赴キ張煦ニモ面会シ南京、上海方面ヲ歴遊セリト

昨大正三年十二月上海ノ謀議ニ基キ北京ニ出タルニ日支交渉問題起リ世論囂々ノ際ニシテ其間錢能訓、楊士琦ノ許ニ出入シテ形勢ヲ窺フニ支那ハ戰意ナク只タ有利ノ条件ヲ以テ局ヲ結ハントシツツアリ然レトモ万一談判不調ニシテ日本大兵ヲ送ルカ如キコトアラハ鮮人同志ヲ集メテ満洲ニ於ケル日本ノ鉄道ヲ破壊シ支那ニ応援スヘキ目的ヲ以テ錢能訓ヨリ張作霖宛紹介状ヲ携ヘテ奉天ニ到着シ西間島各地ニ遊説ヲ為シタ

口、京城ニ於ケル不平團体

本件ニヨツテ見レハ邊錫鵬等ハ早ク既ニ在上海不平鮮人ト氣派ヲ通シツツアリタルモ其ノ他ハ樂馨ノ來鮮ニヨツテ之ニ加盟シ成ハ便宜ヲ与ヘタル事実ニ帰着ス然レトモ調査ノ経過ヨリ綜合スルニ孰レモ早クヨリ同志タルモノト推測シ得

本事実ハ樂馨ノ云フ所ニシテ事外國ニ於ケル事情ニ係リ反証ナク從ツテ悉ク信スル能ハサルモ注意ヲ要スト認ムル一、二ヲ挙クヘシ

イ、在支那不平鮮人ノ情況

在支那不平鮮人ハ互ニ門戸ヲ張リ異ヲ樹テ派ヲ作リテ相下ラス從ツテ離合常ナク統一シ能ハサルモノアリ加之國權恢復后ニ於テモ共和政治派

ト帝政派ト主義ヲ異ニシ只タ輓近ノ形勢ヨリシテ支那及独逸ニ依ルニハ帝政ナラサレハ同情ヲ得ストノ理由起リ帝政主義ヲ唱フルモノ稍数ヲ増加シ柳東説ノ如キ共和政治主張者中ノ錚々タル者ナリシカ形勢不利ナルヲ以テ帝政派ニ加盟シタルモノナリト

樂馨ハ明治四十四年九月間島ニ奔リ次テ露領及満洲ヲ徘徊シテ明治四十五年春北京ニ出テシニ袁世凱勢力ヲ恢復シツツアリタルヲ以テ祖父ノ縁故ニヨリ亡國ヲ嘆シ恢復ノ為來リタルコトヲ通信セルニ使ヲ以テ當時内務部總長タル趙秉均ニ紹介セラレ同家ニ寄食シ其ノ間張煦、張作

ラルモノアリ即チ金勝鉉方ヲ事務所ト定メ又蘭會ナル詩会アリ昨年一月組織シタルモノニシテ男爵金思濬其ノ會長ナリ而シテ會員ノ氏名ヲ見ルニ前頭ノ徒（慶昌、徳臣ヲ除ク）ハ勿論其ノ他ノ輩ヲ見ルニ李龍九李承旭等ノ不平ノ徒ノミナリ蓋シ名ヲ詩会ニ藉リ早ク既ニ在外不平鮮人ト氣脈ヲ通シ或ハ不平ノ謀議ヲ凝スノ機關タリシニアラサルナキカ

註 本文書ハ朝鮮總督府警務總監部高等警察課ヲ主管課トスルモノト認メラル

（附屬書一）

別紙第一號

成樂馨（成友善ト偽名ス）作成ノ警覽書（李太王ニハ題名ヲ「中獨英露カ日本ヲ聯攻セントスルノ大勢」ト為セリ）

嗚呼痛哉大廈ノ將ニ覆ヘルニ當ツテハ一木ノ克ク之ヲ支フル能ハス大河ノ將ニ漲ルニ當ツテハ一葦ノ克ク之ヲ防ケ能ハサルハ勢ノ然ラシムル處ニシテ木ト葦トヲ以テシテ之ヲ防グハ即チ分義タルナリ我同胞ニシテ孰カ木葦ノ義ヲ効サザルモノアランヤ故ヲ以テ友善才乏シト雖モ少シク思想ヲ

有シ身ヲ海外ニ挺シテ東奔西走シ四方ニ締結シテ血ニ泣キ  
寛ニ叫ブコト茲ニ八星霜依ツテ以テ在内同胞ノ渴望シテ而  
カモ目的ノ成就セラレサルモノヲ宇内ニ交渉シ機ニ乘シテ  
大勢ヲ挽回セント試ミツツアリ敢テ交渉運動ニ誠意ノ足ラ  
ザルカ爲メニ非サルコトハ大勢ヲ忖度セラル同胞ノ諒察  
セラルコトタルヲ信シ漫リニ贅言ヲ須ヒザル處ナリ而シ  
テ中日交渉ノ際ニ於テハ同胞中思慮アル者ハ必ズヤ日ノ好  
機ナリトシ妄動ノ弊ナカリシナリ今陰三月友善中華北京ニ  
在リ時局ニ關スル中日交渉ノ如何ニ解決セラルベキヤ將タ  
亦開戦後ニ於ケル祖國挽回ノ方法ニ就キ機會ヲ利用センコ  
トヲ講究シ海内外ニ於ケル同胞ニ向ツテ意思ヲ表示スル  
目的ヲ以テ中華政局ノ和戰兩様ニ於ケル計畫ヲ探しシ遂ニ  
國際ノ和約切ナルヲ認メシト雖モ意外ノ際ニ於ケル準備ト  
シテ北京ヨリ同志ヲ帶同シテ奉天ニ至リ臨時通信機關ヲ設  
置シテ南、北京、上海、西北間島、露領諸處米國ノ各地ニ  
聯絡シ機ヲ待ツテ事ヲ擧ゲントスル方略ヲ密約シタレドモ  
竟ニ其ノ意ヲ遂ゲサリンナリ然リト雖モ大勢ハ遠キ將來ニ  
非ラスシテ完全無歟ナル大希望ノ存スルヲ知リ敢テ落膽セ  
サリシナリ今我同胞ハ海外時局ノ變轉ヲ忖度セラレズ中日

交渉前後ニ於ケル思想界變化ノ形勢ハ恰モ天壤モ啻ナラサ  
ルモノアリ我同胞ニシテ志氣沮喪シ或ハ誤解ノ念慮アラザ  
ランカヲ虞レ警覺ヲ促サント欲ス夫レ磁針ノ相應スルハ自然ノ理  
ナリ前日ノ落膽ヲ棄テテ將來ニ大希望ヲ抱キ以テ大ニ計ラ  
ルコトアラバ幸甚何ニヲカ之ニ加ヘン

### 新韓革黨駐華總機關部長 成 友 善 白

#### 一、中日交渉前ノ大勢

我韓國革命ノ無形的活動時代トハ何ソヤ最初日本ハ甲  
午戰後樺太臺灣ヲ占領シ巨額ノ賠償ヲ強要取得シテ海  
陸軍ノ勢力ヲ擴張シ強露ノ遠東勢力ヲ驅逐シテ大韓ヲ  
合併シ世界上外面的強威ヲ表示シ以テ中華東三省ニ根  
據地ヲ作ラントシタレトモ強露戰ニ倦ミ野心ヲ敢テ發  
セス幸ニシテ中華第一次革命ノ起ルアリ甘言ヲ以テ露  
ヲ誘ヒ中華當時ノ利弊ヲ説明スルニ東亞ヲ維持スルハ  
惟タ維レ大露ト大日アルノミナリト稱シ中華ノ屬地豪  
古ヲ獨立セシムベシト爲シ日露密約ヲ結ビ而シテ後露  
領ニ寓居スル韓人ヲ密約國人トシテ之ヲ視有形的活動  
ノ妨害ヲ爲セリ即チ去癸丑八月九日李韋鍾、李相高等

(1) 日露密約無形中効力取消  
日本ノ興亡ニ重大ナル關係ヲ有スルモノハ中、露協約  
成立シテ更ニ庫倫獨立ノ取消サレタル理由  
露ハ日本ノ甘言ニ陥リテ密約ヲ締シ庫倫ヲ煽動シ中華  
テ各國カ日本ニ對シ惡感ヲ生スルニ至レル理由及將來  
ノ關係ハ下ノ如シ

(2) 中華政府ノ和約ハ深ク時勢ヲ察シテ權ニ聽ケルノミ而  
カモ人民ノ排日行動、排貨熱ハ益々猖獗ヲ呈セリ而シ  
テ各國カ日本ニ對シ惡感ヲ生スルニ至レル理由及將來  
ノ關係ハ下ノ如シ

ノ勢力ヲ包含セルヲ以テ露ハ之ニ痛忿シ日露密約ヲ取  
消シ中華ノ後日處分タル領土ヲ以テ之ニ換ヘントセリ  
由之觀之日露間國際ノ不善ト露カ日本ニ對シ後日無理  
不信ノ罪ヲ問フベキハ明カナルヲ以テ日本ハ茲ニ顧慮  
シ聲明シテ曰ク歐戰終後好意ヲ表スペシト爲シ同盟  
ノ運動ヲ試ミシト雖モ強露ハ遂ニ聽カザリシナリ  
英日同盟ノ危險ナル豫定理由

最初日英同盟ノ時第七條第九條第十一條中韓國領土支  
那利益ノ共治義務ヲ約スルニ相侵スヘカラサルヲ以テ  
シ同盟以前各占領シタル利益ハ各相侵スヘカラスト稱  
シ世界ニ宣言シタリシト雖モ曩ニ英ハ歐戰ノ主動トナ  
ルヤ日本ハ英トノ同盟ヲ守ルト稱シ英軍ヲ若干聯合シ  
テ獨ノ青島ヲ攻撃セリ此ノ時英ハ日ニ對シ青島ヲ攻落  
セバ青島附近李家屯ヲ英ニ歸屬スヘシトノ約ヲ爲セリ  
其ノ後青島陷落ニ及ヒタルモ野心ヲ生シテ條約ヲ履行  
セズ英軍ノ無能ナル所以ヲ宣布シ中日交渉條件中多ク  
英國ノ利益ヲ包含スルモノアリト稱シテ英ヲ欺瞞シタ  
ルヲ以テ英ハ歐戰ニ暇ナシト雖モ後日必ス問題ヲ生ス  
ヘキヤ必セリ而シテ助戰兵二十萬ノ請援ヲ聽カス各新  
羅セリ而シテ這般ノ中日交渉二十一條中ニハ内外蒙古  
テ庫倫ヲ日本ノ義務的保護國タラシメントシテ之ヲ籠  
及バサルニ至リ茲ヲ以テ恩カニモ日本ノ密約ニ期待シ  
庫倫ノ一切保護力ヲ日本ニ密托センモ日本ハ野心ヲ以  
テ庫倫ヲ日本ノ義務的保護國タラシメントシテ之ヲ籠  
セントセシモ不幸ニシテ歐洲戰亂ノ爲メニ事茲ニ至ラ  
ズ英佛ト共ニ聯合軍ニ參加シタルヲ以テ庫倫ノ保護力  
及バサルニ至リ茲ヲ以テ恩カニモ日本ノ密約ニ期待シ

聞紙ニ英國ニ關スル無稽ノ記事ヲ掲載シテ種々籠絡スル處アリ

(3)

## 中獨聯合攻日ノ豫定理由

獨逸ハ戰ニ勝ヲ制スルハ理數ノ動カスヘカラサル處ニシテ戰爭一個年ニ至ラバ英佛露ノ聯合軍ハ其ノ現勢ニ微シ三ヶ月ヲ出テスシテ支ヘ難キハ豫測スルニ難カラサルナリ獨逸ハ三ヶ年間ノ軍資ヲ支ヘテ尚餘リアルノミナラス陸海軍ノ兵力ヲ以テ論スルモ未ダ出征セサル兵士三百萬ヲ有シ兵器ノ銳利ナルコト天下比スヘキモノナシ其ノ戰後ニ於ケル行動ニ至ツテハ露ノ西伯利亞鐵道ノ權利ハ盡ク獨逸ニ歸スヘクセハ東西ノ大事ハ豫定スヘキナリ然シテ青島問題ニ就テノ開戰ハ已定ノ事實ナルヲ以テ假令講和ヲ結ブモ日本ノ利益權利ハ強奪侵害セラレ和ヲ轉シテ戰ト爲スハ之亦理勢ノ當然ニシテ攻擊ノ戰地ハ或ハ東三省又ハ山東ノ地タラハ地勢上日本ノ有利ナラサルカ故ニ中立ヲ嚴守スル中華ヲ蔑視シ中立地帶ニ侵入セハ之レ卽公法ヲ紊亂スルモノナリト稱シ中華ハ獨逸ト聯合攻擊セハ米國ハ中華ニ對シ門戸開放主義ヲ失ハサラントシ中獨ノ援助國ト爲リ

英露ヲ種族關係ヲ以テ聯合シ日本ノ背後ヨリ突入スヘシ卽チ此ノ時ニ於テ我カ韓ノ革命ハ哀窓的外交手段ヲ以テスルモ獨立挽回ヲ請求シ一面革命ノ主動者ハ某國ニ明助若クハ暗助ヲ受ケ日軍運搬ノ要塞地ヲ防禦セハ上下混亂分裂シテ勝チ難キハ豫定スヘクシテ最後ノ手段的外交ノ要點ハ茲ニ在リ卽チ在外運動ハ倍加シ注意ヲ要スヘキ機會タリ現今中獨ノ内應既ニ久シク交際機關ハ急迫ノ時タリ

(4)

## 中獨日國際決裂後我同胞活動ニ關スル大事件

凡ソ在内外同胞力仇敵ノ殘禍ヲ憂フルハ一般ナリ故ヲ以テ此ノ牛馬ノ奴隸ノ名ヲ脱シ轉シテ自由國民タルノ資格ヲ作ラントセバ外援内應ノ力無クシテハ斷シテ爲ス能ハサルハ卽定理タルナリ若シ夫レ機會ニ乘ジ在内者ノ先動ニ在外者之ヲ助ケズンハ成功スヘカラサルナリ同時ニ在外者ノ先動ニ在内者之ニ應セスンハ此レ亦能ハサル處ナリ茲ヲ以テ在外者ハ外勢ニ依テ動キ在内者ハ實力ニ依ツテ之ニ應スヘク此レ卽チ時機ヲ利用スルノ手段ト謂フヘキナリ所謂在内者ノ實力ハ卽同志ノ團體ニシテ團體トハ卽秘密無形中鞏固ナル政府タル

ナリ其ノ政府組織方法ハ在外運動者ノ責任ナリ此レ卽大勢ヲ觀察シテ人望ヲ糾合スル組織ノ要件タルモノナリ

(附屬書二)

中韓誼邦條約案  
別紙第二號

第一條中韓本維レ四千年來歷史上ノ情誼ト地理上唇齒的關係ヲ有スルガ故ニ兩國ノ元首タルモノハ東西ノ大勢ヲ觀察シ安寧ヲ維持スルカ爲メニ茲ニ本條約ヲ締結ス

第二條大中華民國大總統ハ誼邦國大總統トシテ定ムヘキ事  
第三條大韓國○○○ハ誼邦國○○○トシテ定ムベキ事  
第四條大獨逸國大皇帝ハ中韓誼邦ノ聯帶保證國大皇帝トン

テ定ムヘキ事

第五條中國ハ韓國革命ヲ舉グル際軍機或ハ財力ヲ幫助シ中韓誼邦ノ保證タル理由ヲ以テ中韓兩

テ帮助スル事

第十條中韓兩國ハ獨國ノ保證ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スルカ

爲メニ東西ニ於ケル優等權ヲ讓渡スル事  
第十一條韓國革命成功後中國ハ韓國ノ内政ニ容喙セサルコト但誼邦タル義務トシテ税關或ハ鐵道等ノ事業ニ

利トヲ確守シ失ハサルヘキ事  
第六條大獨國ハ中韓誼邦ニ對シ保證タル理由ヲ以テ中韓兩

國力條約ニ違反スル場合ニモ其ノ保證タル義務ト權

利トヲ確守シ失ハサルヘキ事

第七條朝鮮基督教徒ノ陰謀事件闇与等ニ關スル件

二三六

二二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件闇与等ニ關スル件

二三六

第十二條韓國革命成功後中國ノ領土ニ殖民シ或ハ海軍根據地ヲ請求スル場合ハ強制ヲ以テセス情誼ヲ以テ爲ス

關シ技手或ハ翻譯員ヲ雇傭スル事

三七一

ヘキ事租借期限ハ五十年ヲ越エサル事中國モ亦韓國ニ對シ同然タルヘキ事

第十三條中韓兩國ハ各條約ヲ守リ領土ヲ侵ザル事  
第十四條獨國ハ中韓兩國ニ對スル保證タルニ藉口シテ中韓兩國ノ領土ヲ故ナク侵害セサル事

第十五條中韓兩國ハ國家ノ便利ノ爲メニ各々公使ヲ派遣シ名稱ヲ誼邦大使ト定ムヘキ事

第十六條中韓兩國ハ領事ヲ置カス各々人民ヲ保護スル事

第十七條韓國革命ノ目的ヲ達セサル場合ニハ中國ハ其ノ革命ニ於ケル重要ナル人物ニ相當ナル地位ヲ與ヘ保護

スル事  
第十八條本條約ハ韓國革命事業着手前ニハ之ヲ秘密ニ附シ成功後正式ニ世界ニ公布スル事

第十九條本條約ハ韓國革命事業着手前ニハ中韓獨國ノ重要ナル人物間ニ於テノミ私結シ成功後各政府ノ元首者之ヲ繼承シ公布スヘキ事

(附屬書三)

別紙第三號

邊錫鵬作成ノ在外鮮人ニ與フル檄文

キナリ且日人百千群ヲ爲シテ我カ地位ヲ奪ヒ主客顛倒シ十  
三道ノ土地產業ヲ舉ケテ其ノ半ハヲ収メ馴致スルコト恰モ  
數十年ノ如シ吾人能ク何處クニカ耕シ何ニヲ以テカ處ゼン  
ヤ吁々彼レスクノ如クニシテ其罪天地ニ貫盈シ神人俱ニ憤  
ル處萬國ヲシテ亦之ヲ聲討セシムヘシ此ノ時ニ當ツテヤ又  
必スヤ我力兵我力財ヲ用ヒ同胞ノ血肉ヲシテ山野ニ劍ラン  
賛産ヲシテ傾盡セシムヘシ嘆悲シムヘキ哉吾人何ニヲ以テ  
カ之ニ堪ヘンヤ想フテ茲ニ至レハ鬚髮ノ逆立ツラ覺エサラ  
シム嗟々諸君何ソヤ夫レ計ラサル新羅高麗以來今ニ至ル  
迄日本ノ我レヲ毒スルコト大小凡ソ五十六回ニ及ヘリ若シ  
夫レ吾人其ノ害ノ少ナキヲ望ミ須叟モ死ヲ免レテ日人ノ殘  
害殺逆ニ任センヨリハ却テ死中ニ生ヲ求メテ勇往直進シ以  
テ我カ舊物ヲ索メ而シテ後已マンニ如カサルナリ果シテ而  
カスル如クンハ我レニ三寸ノ舌ノアルアリ諸君ノ垂聽ヲ請  
ハント欲ス今ヤ日人ノ雄師堅艦我レ固ヨリ之ヲ視ル無キカ  
如キナリ何ヲ以テ其ノ然ルヲ知ランヤ蓋日人露ト戰ツテ以  
來軍備ニ困憊シテ彌縫之レ事トシ暴悍以テ其ノ惡ヲ遂ゲン  
トスルナリ彼レヤ日ニ孜々トシテ民ニ賦シ村閭支ヘ難ク力  
竭キ火中ニ食ヲ得ルカ如クニシテ煥急ノ秋ニ在リ且狂暴以

テ米國ニ事ヲ構ヘ負債ヲ償フニ戰ヲ以テセントス此レ即チ  
恩ニ酬ユルニ仇ヲ以テスルモノナリ彼レヤ亦墨米兩國ノ隣  
好ヲ反間シ支那革命ヲ煽動シテ蔓延防キ難カラシム加之獨  
國ヲ忌避シテ其ノ師ニ背キ満洲比律賓ヲ其ノ有ニ歸セシメ  
ントシ印度諸邦ヲ明暗裡ニ使嗾煽動シテ事ノ生スヘキヲ希  
ヒ天下無敵ト稱シ横恣驕暴眼中人無キガ如シ彼レ何ソ能  
ク是非德義ノ何處クニアルヲ知ランヤ白晝金穀ヲ攫ミ渾身  
ノ膽克ク十年以來一善ナクシテ百惡俱サニ備ハル小人日本  
ノ到ル處毒ヲ受ケザルナク只之レ專ラ人ヲ害スルヲ以テ能  
事ト爲スコト恰モ病者ノ痒ユキヲ搔クニ非ズンハ安ンセサ  
ルニ似テ其ノ惡德非行天ニ逆ラヒ理ニ背ムキ百計皆之レ然  
ラサルハナシ噫、彼レヤ遂ニ孤獨倚ルヘキナク其ノ爲ス處  
事トシテ十中ノ一ヲタモ成就スル能ハスシテ徒勞ニ歸スヘ  
キヤ瞭カナリ彼レノ國性彼レカ國狀夫レ既ニ斯クノ如キヲ  
以テ此ノ機ヲ逸シ若シ我レニテ拱手爲スナクンハ漁夫ノ利  
ヲ收ムル能ハスシテ我レ却ゾテ天下ノ惡名ヲ一身ニ萃ムル  
ニ至リ天ヲ仰イテ大聲不平ヲ號叫シ贍ヲ噬ムモ及フ處ナケ  
ン況シヤ彼レヤ將ニ累卵ノ如ク千人ノ指サス處病マサルモ  
亦死アリ將タ亦彼レカ山積ノ負債ハ其ノ利ヲダモ報スル能

鳴呼邦國亡ブ奈何ニスヘキカ嗚呼民族滅ス奈何ニスヘキカ  
邦國云々亡フルハ昔人ノ悲ム所民族滅シ人種ヲ并セテ盡ク  
劉リ噍類空シ嗟々諸君深ク長思セサルヘケンヤ此ノ時ニ當  
リ地方萬里貲財千億アリト雖モ既ニ同胞ナク誰レト共ニカ  
處シ誰レト俱ニカ樂マンヤ夫レ故舊暫ク相離ルルモ猶未且  
惜別シテ長ヘニ想憶フ況ノヤ父母昆弟奴隸ト爲リ身他域ニ  
流離シテ國難ニ奔リ家難ニ投ス其ノ心果シテ如何ソヤ我  
レ諸君ノ爲メニ悲ムモノナリ嗚呼祖國ハ墟ト爲リ異類充滿  
シテ慘虐ヲ肆ニス吾人九天ニ向ツテ血淚ヲ注キ墳塋ヲ望ン  
テ冤魂ヲ吊フ今ヤ茲ニ日人ノ我レニ於ケルヤ亦慘ナリト謂  
ヒツヘシ既ニ我カ數十萬ノ義徒ヲ戮殺シ我カ賊臣ヲ用ヒテ  
祖國ヲ奪ヒ復タ其ノ心厭ク處ナシ法令雨下シテ適從スル處  
ナク賦役日ニ重クシテ民命ニ堪ヘス加之欺邪百端朝令暮改  
シ偵遷山野ニ滿チ奸凶ヲ爵賞シ良善ヲ殘害ス民業ヲ強奪シ  
農商ヲ抑壓シ官吏ヲ逐斥シ刑教ヲ濫ル其ノ惡政淫靡ノ及ブ  
處我カ良俗ヲ壞リ父子相訴爭シ人倫ノ道頽レテ夫妻離絶シ  
思誼亡ヒテ兄弟親族ナシ慘忍刻簿只利ヲ以テ之ヲ視我カ仁  
義礼讓ヲ棄テ而シテ人ヲ驅ツテ禽獸ノ域ニ至ラシムルハ  
即チ此レ日人ノ國性ニシテ韓人ノ尤ニ微フモノ亦斯クノ如

ハス況ンヤ元金ヲヤ且債主質物ヲ有スルアリ之ヲ償ハサラント欲スルモ勢ヒ能ハサル處ニシテ償ハント欲セハ即チ一國ノ土地財産ヲ舉ケテ之ニ與フルモ亦克ク精算シ得ヘケンヤ加フルニ彼レ戰前ニ横ハリ船機日ニ老朽シ糧食半ハ竭キテ補フ處ナシ豈悶々ノ情ナカラニヤ此レ即チ彼レカ自業自得ニシテ復タ誰レヲカ怨マン尚ホ且彼レカ老成ノ輩ハ凋落シテ群衆不逞ヲ肆ニシ議院ハ變シテ戰場ノ如ク政黨各旗幟ヲ樹テ政、上ニ亂レ民、下ニ畔ムキツツアリ然ラバ即チ昔日清ヲ討シ露ヲ破ソテ宇宙ヲ震寰セル百萬ノ兵千隻ノ艦ト雖モ奚ソ夫レ困憊セサラント欲スルモ得ヘケンヤ乃チ今ヤ轉シテ一匹ノ離ト雖モ克ク勝ツ能ハス強弩ノ末ハ以テ魯縞ヲ穿ツ能ハサルナリ故ニ言ヲ爲スモノアリ謂ツテ曰ク日本ハ露米獨ノ何レヲ問ハス其ノ間ニ一矢ヲダモ遺スル能ハス彼ノ積弱多事ノ支那ニシテ若シ重ネテ舊盟ヲ尋ネ而シテ以テ之ヲ問罪セハ日本ハ必スヤ稽首シテ聽命ニ違アラス枝梧シテ粉齋セラルベキナリト其ノ言豈果シテ然ラニヤ且又米獨支一時ニ并ヒ立ツテ兵ヲ舉ケナハ其ノ滅フルヤ朝食モ啻ナラサルモノアリト彼レヤ今將ニ内訌内ニ張リ外憂之レ來リテ即チ火ニ油ヲ添フルカ如ク燒イテ盡サスンハ止マ

サラントス其ノ亡フルヤ期シテ待ツヘキナリ然リ而シテ日本ノ亡フルハ顧ミテ憐ムニ足ラスト雖モ獨リ吾人ノ大ニ懼ルル處ノモノハ何ソヤ夫レ得難キモノハ時ニシテ失ヒ易キモノモ亦時ナリ日本ハ此ノ艱難ノ時ニ際シテ尚ホ天下ニ難ノ多キヲ見ント欲スルヤモ量リ知ルヘカラス記セヨ困獸却テ我レヲ傷ツケ我レ當ニ害ヲ被ランコトヲ諸君何ヲ以テ計ラサル昔者乙支文德ハ隋煬ヲ破リ楊萬春ハ唐ヲ拒キ宗姜耶賛ハ蕭遜寧ヲ走ラシ鄭世雲ハ紅賊ヲ殲ニシ李舜臣ハ倭酋ヲ破レリ抑モ此ノ數子者ハ總テ此レ一時ノ豪傑ナリト雖モ然レトモ高閣ニ坐シテ以テ亂世ノ盤根錯節ニ遇ハスンハ利器モ辨シ難ク碌々トシテ草木ト俱ニ朽ツヘキナリ奚ソ歎名ヲ日月ト共ニ光ヲ爭ヒ千載ニ輝カストヲ得ンヤ諸君ハ不世出ノ才ヲ抱キ而カモ此ノ機ニ會セリ何ソ夫レ意ナカラニヤ且諸君ハ衆十萬ノ雄ヲ擁シテ遼東ニ踞ン又天下ノ輿望ヲ荷ヒテ各國ト連絡シ米獨其ノ項ヲ扼シ露支其ノ背ヲ衝キ我又其ノ間ニ縱横シテ倭ニ抗セハ此レ眞ニ甕中ニ鱉ヲ捕フルカ如クニシテ何ソヤ夫レ難カラニヤ且義聲到ル處東洋一局ニ檄ヲ傳フヘキアリ乃チ國恥雪ク可ク國光宣フ可ン國威立ツ可ク國民保ツ可ク斯クシテ當ニ歐米ニ并駕シテ餘烈アル

ヘシ鼓舞シテ來リ談笑シテ至ル天下ノ爲メニ殘賊ヲ除ク豈快ナラストセンヤ此ノ時ニ當ツテヤ諸君ノ勲業何ソ以上ノ數子ニ止マランヤ然ルニ若シ畏縮シテ機ヲ失センカ此レ諸君ノ初志ニアラザルヘキナリ昔愛親覺羅氏ハ二萬ノ兵ヲ以テ天下ノ多キヲ定ム即チ兵ハ之ヲ用ユルノ如何ニアリ且萬國我レト同仇敵愾タルアリ何ゾ之ヲ滅ホスニ畏ルルコトアランヤ呼、時ハ逝テ再ビ來ラス諸君何ソ夫レ計ラサル且我韓ノ民日夜北望シテ天ニ祝シテ曰ク庶幾クハ我カ同胞ヲ水火ノ中ニ拯ヒ萬國ニ翹首シ雲天ヲ瞻仰ス之レ當ニ萬國比レヲ助クルモノニシテ百姓ニ歸シ我カ直、彼レカ曲、我力強、彼レカ弱即チ此レ天我カ時ニ贊シ天下ノ重キヲ以テ諸君ニ托シテ之ヲ定ムルモノナリト何ソ夫レ勉メサルヘケンヤ今我輩果シテ軍ヲ佐クルノ力ナカラニヤ然レトモ聞ク力如クンハ師ヲ出ス必ス期アラハ衆群起シテ響ニ應スト倭ヲ

悦ハサルモノハ悉ク力ヲ竭シテ之カ爲メニ竿ヲ掲ケテ旗ト爲シ木ヲ斬ツテ兵ト爲サザルモノナクスクシテ以テ劍戎ニ從ハバ假令我在韓者大歎ヲ建ツル能ハス奇功ヲ樹ツル能ハスト雖モ掎角ノ勢ハ以テ倭ヲシテ兼顧傍視スル能ハサラシムヘク且又國內擾亂シテ我レト俱ニ克ク持久スル能ハス敗

## 別紙第四號

大韓人士在外同胞諸君閣下ニ謹奉ス  
(附屬書四)

在外朝鮮獨立運動同志鮮人數及銃器彈藥數(邊錫鵬方  
ヨリ押収ノ文書)

黒龍江邊ニ在ル哈爾賓ト浦沙トハ露ノ領地ニシテ黒龍江、吉林ト奉天ノ三處ハ東三省ナリ  
新義州奉天間六百七十里ノ汽車ト長春八百三十里ハ日本ノ

領地ナリ奉天安東縣、大連灣ハ日本ノ領地ナリ  
東三省内吉林ノ主務機關ハ成友善ナリ

二十六万餘名  
槍彈ヲ有ス

朝鮮京城ヨリ新義州、平壤、江界、會寧、浦沙ニ行キ

朝鮮京城ヨリ元山港、咸興、城津港、會寧、浦沙ニモ行キ

米國布哇島、桑港、紐育ハ世界ノ大道處ナリ  
内地人等ハ一月一回宛會同相議スル事

#### 各處軍容情形詳細

撫松縣 五千三百人内

江界獵單四千百六十七名  
其餘解散兵六百九十三名

新式快槍六千八百筋  
快槍名目俄造

旺清門 一萬九千五百七人内

西曆一千八百十年造成  
山獵單一万九千名  
其餘解散三百二十名又

彈子九萬七千顆

二十五才以上三十才以内三人  
九万七千三人現今半集隊伍  
練軍式新式槍彈ヲ并有ス

通化縣懷仁縣輯安縣三郡

馬村ノ後口ヲ襲撃スル事

新式槍及彈子莊ニ在リ

豆滿江ヲ溯リ會寧ト羅南面ニ留陣シテ突擊スル事

軍兵出口時、通化縣、懷仁縣、輯安縣三郡ノ軍兵ヲ合同シ

軍兵出ロ時、通化縣、懷仁縣、輯安縣三郡ノ軍兵ヲ合同シ

成樂鑿等同志間ノ通信暗號

指日憲（憲兵ヲ指ス）木貫紗

指日查（巡查ヲ指ス）珠貫紗

指韓憲（憲兵補助員ヲ指ス）向繼

指韓查（巡查補ヲ指ス）窓戶繼

指槍（銃器ヲ指ス）牛皮

指心（注意セヨ）白米

心服（指揮ニ從フ）白米時勢甚高

心不服（指揮ニ從ハス）白米時勢抵落

心相半（中間）白米勢高々無比

電報件

（附屬書六）

別紙第六號

成樂鑿ヨリ邊錫鵬ニ送レル信書

邊錫鵬大先生執事下

拜啓此ノ世ハ何ノ世カ此ノ時ハ何ノ時カ此ノ日ハ何ノ日カ

東歐西歐水陸開通シ生平ノ見モノク聞モノク各國人種交坐

雜來スルハ各其ノ目的アリシニ非スヤ故ニ大概其ノ人ノ名

ヲ聞キ目的ヲ知レハ其ノ知己ヲ結ハントシ此ノ二十世紀英

米國地方ニ於ケル主務機關ハ朴容萬

學生武官教練八百五十名

財政二千九百餘萬元

軍艦五隻目下在リ

楚山郡前口ヲ渡リテ襲撃スヘク新義州ニ留陣スル事

旺清門ニ在ル軍兵ハ系縣等ノ地ニ出没シテ日兵ヲ誘引シ長

馬村ノ後口ヲ襲撃スル事

撫松縣ニ在ル兵ハ連絡シテ延吉府、浦沙ト求援兵トヲ合シ

旅順大連ノ援助兵ト奉天軍隊ト合シ營口ノ汽車ヲ急速ニ遮

断スル事

軍糧彈藥ハ豊富ニシテ財政ハ東三省ニテノ取収二千

萬元

露軍艦十隻米軍艦五隻在リ

（附屬書五）

別紙第五號

浦沙二萬九千三百六十五人皆槍彈子ヲ有ス  
目下露師範學校空地ヲ借り日夜軍式ヲ教練ス

浦沙二萬九千三百六十五人皆槍彈子ヲ有ス  
目下露師範學校空地ヲ借り日夜軍式ヲ教練ス

其ノ國權ノ強キ保護ヲ受ケント青島ニ居リシニ今回填塞失交干戈相見ユルニ當リ彼ノ虜カ獨ノ勢力歐戰ニヨリ青島ヲ顧ミル能ハサルヲ知リ獨ノ青島ヲ奪ヒ小島ノ野蠻行爲ヲ大陸ニ試ミントス然レトモ兵ナルモノハ其ノ相當ナル名目ヲ得世界ニ聞知セシメ列國ノ認諾ヲ承ケ然ル后ニ於テ初メテ其ノ公法上無名ノ出師ノ名ヲ免ル故ニ今回歐洲戰爭ニ彼虜ハ參加スル名目及目的決シテ無シ但英國ト同盟セシヨリ美名ノ書ヲ下シ東亞ノ平和ヲ維持シ支那ノ土地ヲ保護スヘシト忽然トシテ八萬ノ大兵ヲ發シ三千ノ英兵ト同盟聯軍シ海上ヲ封鎖シ水雷ヲ掃除シ大連ヨリ煙臺及龍口等ニ上陸シ水陸攻圍セリ此ノ時青島ニ在リシ獨兵ハ海陸及雜兵合セテ五千四百七十三名ナリ墺兵聯軍僅ニ六百四十名此ヲ以テ八萬六千ノ敵ニ對セリ故ニ獨敗レ敵勝シハ三尺ノ童子モ自ラ知ル所嗚呼友善青島ニ入リシ槍多ク獨提督ノ保護ヲ受ケ危險ヲ避ケ安樂ヲ要求スルハ平生獨督ノ知己相助ル恩義ニ背クモノナリ又一點所懷アリ該島ヲ棄テス槍林彈雨ニ身ヲ犠牲トスアルハ實ニ獨督ノ保護ノ恩義ニ報ヒ一面機會ヲ察ン東三省ノ同志ヲ指揮シ義旗ヲ舉ケ獨ノ内應軍トナリ七八星霜海外ニアリ所有凄苦ヲ受ケ呼泣奔走ノ目的ヲ達セソコト

ヲ期待セシニ彼虜青島ノ用兵急ニ水陸ノ戰雲毒刃急ニ電線ヲ斷チ交通絶エタリ此ノ時獨督友善ニ勸メ戰地ヲ避ケ后日目的ヲ期成セヨト四五次勧告セシモ實ニ虎口ヲ脱スルノ計ナシ獨督ト共ニ死シ前日ノ格別ナル保護ノ恩ノ十分ノ一ヲモ報セントセシニ獨督大勢ヲ説キ相勸メ后日ヲ期セリ故ニ延テ十月初ニ至リ在島シ日獨兵ヲ交ユル有五次此ノ時血雨肉風不霽危険朝夕ニ在リ嗚呼所謂事未タ成ラス身先死ス時ニ米國獨國ト相背キ難キ義務アリ故ニ米國領事該獨督ヲ死地ニ置キ別離スル國際上親密ノ誼ヲ守ル能ハス私ニ對シテ不忍ノ心アリ故ニ十月三日ニ至リ米政府ノ訓示ニヨリ始メテ去島セリ友善米領ニ共ニ行カソコトヲ求メ米領事事務員中ニ相雜リ虎口ヲ脱シ膠州ニ到レリ膠州ヨリ米領事ト別レ徒步ニテ煙臺ニ至ル膠州煙臺間七百八十里ヲ單身旅行セリ滿山遍野均シク是彼虜ナリ其ノ時ノ遁避ノ狀ヲ細説センハ閣下ノ懷ヲ損セソコトヲ恐レ敢テ詳言セス但煙臺ヨリ乘車徒步ニテ煙臺ニ至ル膠州煙臺間七百八十里ヲ單身旅行セリ北京ニ到リ暫ク友人ヲ見更ニ上海ニ至リ劉君ト相逢ヒ朝夕離レス心情吐露スルニ當リ閣下ノ繩書モ接見シ本國人士ノ有志不敢ナルヲ推測シ外論ノ種々誤解セルヲ聞キ駭愕ニ不勝一遍東三省同志へ佈告セ

シ書ヲ寄送シ一遍金資ヲ不惜世界將來ノ形勢及歐洲戰后列國ノ攻略如何及諸亡國民族ノ應變如何ヲ一々記述シ印刷局ニ送り目下印刷中ナリ此ノ印刷書ハ即チ吾國內民族ノ種々誤解ニ因リ彼虜ヲ畏懼シ敢テ何タル心ヲ藏シ能ハサルヲ爲ニスルナリ而モ寄送ノ方法ナシ故ニ願クハ閣下内地ニ在リ希クハ此ノ書ヲ送付ノ后同志及有志ノ同胞ニ傳ヘラレタク料金ハ不要然シ今日歐洲戰爭ハ如何ノ爲ナルカ各々其ノ國ノ權利ヲ保存シ世界ノ競爭ヲ必要トシ幾億萬ノ金ヲ疆場ニ消盡シ幾千萬ノ生命ヲ槍彈ニ驅リ老弱ノ民ハ家ヲ傾ケ軍需ヲ助ケ強壯ノ人ハ身ヲ殺シテ兵役ニ從事ス嗚呼前日文明ヲ以テ自ラ許セシ歐洲一戰爭地ト變シ神聖ヲ以テ自ラ許セシ民族一疆場戰鬼ト化シ些ノ辭スル所ナキハ各其ノ國ノ爲身家ヲ不顧況シヤ亡國ノ痛アル吾同胞ニ於テオヤ友善内地ニ在ルノ時ト海外ニ在ルノ時種々同胞ノ恒言ヲ聞クニ機會ナント云フ聊々機會ハ常ニ有リ機會ノ摘要準備ハ寥々ナリ劍按地ヲ擊チ血ヲ吐テ自盡ニ至ルニアラスヤ嗚呼

閣下ハ暫ク此ノ書ヲ同志及同胞ニ聯帶シ各其ノ夢ヲ醒サシメラレタシ大概人衣ヲ衣ントセハ蠶ヲ先ツ養ヒ糸ヲ得布ヲ組成セシ后衣アリ食セントセハ種ヲ播キ秋ニ當リテ穀ヲ得

然ル後食アリ故ニ衣ヲ衣ル者ハ蠶ヲ養フヘク食セントスルモノハ種ヲ下スヘシ吾民族現今塗炭ノ恨有リ吾祖國淪亡ノ名アリ若シ塗炭ニ甘ンシ淪亡ヲ不恨ハヨシ然ラスンハ則チ機會摘用ノ利器ヲ準備スヘシ諸々吾人ノ機會ノ利器ト云フハ但團結ニアリ財政ノ一款ニ至リテハ機會ニ乘シ義旗ヲ舉クルノ時友善假令微ナリト雖斷シテ擔任スヘシ故ニ暫ク吾人ノ機會ト云フ恭ク維

閣下嘉納セラレタシ今ヤ吾亡ビタル祖國ヲ恢復シ塗炭ノ同胞ヲ救濟セントセハ三年ノ内ナリ三年以内ニハ必ス機會アルヘシ目下歐洲戰爭方ニ酣ナリ日獨交戰ス今日吾人ノ機會ナリト同胞ニ言フ此ノ如シ機會ナキニハアラサルモ今日ノ機會ハ吾人空殼ノ機會ナリ更ニ三年ノ機會ハ吾ノ實力ノ機會ナリ何ヲカ空殼ノ機會ト云ヒ何ヲカ實力ノ機會ト謂フ嗚呼國ノ亡ホサレテヨリ五年前日吾國民族專制政治ノ下ニ伏シ官吏勢力家ノ虐待ヲ受ケ相仇讐ノ境タリシカ猝然天崩地拆ノ痛ニ人民手ヲ強隣ト東ネ而シテ逆輩朝廷ニ縱横シ偵察ハ山野ニ充實シ群言ヲ必市シ志士ヲ冤絞ス孰レカ敢テ死ヲ願ヒ生ヲ欲セサランヤ且當時列國ノ暗認ニ乘スル能ハス且經濟上利用ノ方法ヲ定メス但今日獨露ノ戰フニ當リ吾同胞

何ソ起タサル何ソ起タサル今日吾機會ト云フ所謂空殻ノ機會ニアラスヤ刻下獨青島ノ失利ハ事實上避クヘカラサル事方今獨ノ歐戰ノ得利世界ノ共ニ認ムル所ナリ而シテ歐戰ノ終結ハ明年三四月タルヘク當時戰爭終結ニ際シテヤ米獨兩國ノ協約ハ必ス世界ノ耳目ヲ聳動シ米ノ加州問題獨ノ青島問題一時ニ俱發シ戰爭ハ極東ニ及フヘシ然則露ハ元來大連ノ恥ヲ受ケシ后晝夜經營シアリ故ニ西伯利亞鐵道複線已ニ成リ諸般運送利便ニ且支那ノ内蒙ヲ獨立セシメ地理上占領スルハ極東ノ政策ナリ故ニ内ヨリ米獨ニ應シ外ヨリ日虜ヲ誘ヒ極東ノ主人ト作ルヘシ其ノ時支那中立ヲ欲スルモ決シテ得ヘカラス故ニ中米同盟ヲ作り攻守ノ利益相助クヘン此ノ時獨國ハ支那ト間接同盟ノ誼ヲ作り米獨ハ聯合軍ヲ作り東海ヲ封鎖シタル後露ヲシテ遠東ノ主人義務タラシメハ此ノ時ニ於テハ遠東領土ノ主人公ハ支那ニシテ勢力上ノ主人公ハ露ナリ茲ヲ以テ中露間ニ必ス一問題ヲ生シ内蒙ノ獨立ヲ取消シ露國ト聯邦條約ヲ締結スヘシ斯クシテ中露ハ利益協約并ニ領土協約ヲ結ヒ露ハ此ニ延吉ヨリ韓國會寧ヲ侵シ彼ノ虜ノ勢力ヲ分チ支那ハ東ニ先ツ營口ヲ防キ鐵道上ヨリ山海關支線及奉天支線ヲ斷テル後海面ヨリハ美德聯合軍進

以上

大正四年九月二十一日

報告通報先、總督、政務總監、總務局長、駐劄軍司令

(陸軍大臣、内閣書記官長、内務、外務次官)

官)

朝鮮保安法違反事件処分ノ件  
本件ニ閑シ朝鮮總督ヨリ別紙ノ通報告有之候ニ付為念写及送付候  
(附屬書一)

寺内朝鮮總督ヨリ大隈總理大臣宛報告寫

司秘第二七三號

大正四年十一月十五日

朝鮮總督伯爵 寺 内 正 肅

内閣總理大臣伯爵 大隈重信殿

成樂馨等ニ對スル保安法違反被告事件ニ付大正四年九月二

十三日附司秘第二七三號ヲ以テ及報告候處客月三十日京城

地方法院ニ於テ別紙寫ノ通判決有之候條此段及報告候也

追テ被告男爵金思濬ハ即日控訴申立ヲ爲シ其ノ他ノ被告

ハ即日判決確定致候條申添候也

(別 紙)

判 決

内務省秘第二二八〇号

大正四年十二月二十五日

内務次官 久保田 政周(印)

外務次官 幣原喜重郎殿

二二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件関与等ニ閑スル件 二三七

成友善事

京畿道坡州郡坡平面訥老里訥老洞住

同所出生無職

入スヘシ此ノ時英國ハ假令彼ノ虜ト同盟シツツアリト雖モ種族上ノ關係上必スヤ中立ヲ嚴守シ恰モ赤壁ニ於ケル垂袖ノ狀ヲ呈スルヤ瞭カナリ此レ此ノ時即吾人カ實力ヲ用フルノ機會ニ非スヤト被存候閣下ハ同志同胞ノ團結ニ此レ務メ露カ會寧ヲ犯シ中國カ奉天ノ鐵路ヲ斷タハ宜シク地方ニ運動シ咸北平ノ要地ヲ認メラルレハ友善不肖ト雖西北間島一百七十萬ノ父老昆弟ヲ指揮シ咸北平北ニ内應シ兵器財力ヲ輸入スヘシ然リ而シテ財力ニ至ツテハ必ス軍票ヲ發行スヘク其際ハ支那ニ於ケル某銀行ニ運動スヘシ此レ則チ友善カ七八年間支那ニ奔走セル効果ニシテ斷シテ擔任スヘシ兔ニ角常ニ聲氣ヲ聯絡シ吾人ノ事業ヲ圖ルニ務メラレンコトヲ乞フ目下友善ノ住所ハ旅館ニシテ耳目煩多ニ付簡單ニ申上候同胞中時勢ヲ誤解スルモノアラハ妄動セサル様御措置相成度此ノ外詳細ニ干シテハ目下印刷ノ書モ有之候ニ付早晩御送付申上クヘク候歲茲ニ舊ヲ送ツテ新ヲ迎ヘントシ感慨尠ナカラス候

十二月二十五日

成友善 再拜

露日同盟說ハ全然無根ノ説ニ有之支那第三次革命ノ説モ謂フニ足ラス候

一二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件関与等ニ関スル件 二三七

三八二

成 樂 韶

忠淸南道大興郡堂山里出生無職

金 思 洪

京城府花洞百三十番地金昇元方住

金 思 洪

同府貞洞出生無職

金 思 洪

京畿道坡州郡内面陵内洞出生無職

金 胤 元

金 思 洪

京城府花洞二十八番地住

邊 錫 鵬

金 思 洪

京畿道坡州郡内面陵内洞出生無職

十一月十五日生 六十三年

金 思 洪

京城府勸農洞百八十四番地住

朴 凤 来

金 思 洪

忠淸北道陰城郡蘇伊面金古里出生無職

六月十八日生 四十四年

金 思 洪

京城府庫洞八十三番地住

沈 仁 泽

金 思 洪

忠淸北道陰城郡蘇伊面金古里出生無職

一月三日生 五十七年

金 思 洪

京城府躰府洞百十八番地住

九月一日生 六十五年

金 思 洪

京城府齋洞九番地住同所出生無職

六月二十八日生 四十三年

金 思 洪

京城府齋洞九番地住同所出生無職

鄭 駢 永

金 思 洪

京城府齋洞九番地住同所出生無職

金 勝 鉉

金 思 洪

京城府齋洞九番地住同所出生無職

李 慶 昌

金 思 洪

京城府齋洞九番地住同所出生無職

李 慶 昌

金 思 洪

京城府內資洞百二十九番地住

廉 德 臣

金 思 洪

同府南大門内水閣樓出生

一月二十日生 四十七年

金 思 洪

右成樂馨ニ對スル私文書偽造行使詐欺成樂馨金胄元邊錫鵬沈仁澤金

思洪金思溶ヲ各懲役一年ニ處シ被告朴鳳來鄭駔永金勝鉉

廉德臣ヲ各懲役八月ニ處ス

被告李慶昌ヲ無罪トス

押収物件中領第六二九號ノ一、三ナル警覺書同號ノ八ナ

ル書面各一通ハ之ヲ沒收シ其餘ハ總テ所有者ニ還付ス

理由

被告成樂馨ハ夙ニ排日思想ヲ懷抱シ帝國ノ舊朝國ヲ併合ス  
ルヤ之ヲ不快トシ支那國ニ赴キ同地ノ同志ト相會シ其ノ國  
權ヲ恢復セントシ之ニ供スル資金ヲ得ント腐心シツツアリ

タルニ明治四十四年八月頃慶尚南道晋州郡所在ノ土地約二  
萬斗落ヲ賣渡サントスル者アリテ其各所有者ノ代理人ナル  
柳載均ナル者京城ニ出テ被告成樂馨ニ對シ其買入方ヲ交渉シタルニ同人  
ハ實地ニ就キ調査ヲ遂ケ之ヲ買入ルルコトトナリ同年九月  
日不詳其雇人ナル李泰淵趙濟元及被告成樂馨ヲ伴ヒ慶尚南  
道晋州郡邑内ニ赴キ同地妓生桂月方ニ滯在シ實地調査ニ着  
手シタルニ其數多量ナルヨリ後事ヲ李泰淵趙濟元ニ一任シ  
之ニ要スル金錢ハ其申込ニ應シ送付スヘキ旨ヲ申聞カセ歸  
京シタリ然ルニ其後李泰淵趙濟元等ハ土地調査ノ爲メ同道  
宜寧郡地方ニ出テ十數日間歸宅セサルコトトナリタルヨリ  
被告成樂馨ハ此ノ機ヲ利用シ前示資金ニ供スル目的ヲ以テ  
金錢ヲ騙取センコトヲ企テ同月十三日其住所ニ於テ趙濟元  
發ト認ムヘキ前示趙鍾緒ニ宛テタル土地買入代金約金六千  
圓ヲ李泰淵ニ宛テ至急爲替ヲ以テ送付スヘキ旨ヲ認メタル  
電報頼信紙一通ヲ偽造シ同日之ヲ晋州郵便局ニ提出行使シ  
其旨ノ虛偽ノ電報ヲ發セシメタルニ趙鍾緒ハ之ヲ信シ其後  
金三千圓ヲ漢城銀行ノ手ヲ經テ慶尚農工銀行晋州支店ニ宛

テ電信送金ヲ爲シタルヨリ同銀行支店ハ其旨ノ通知書ヲ被告ノ住所ニ發送シタルヲ以テ茲ニ被告成樂馨ハ其ノ金錢ノ送付アリタルコトヲ知リ同月十八日頃情ヲ知ラサル同郡邑内三洞印刻業原田種繁ヲシテ李泰淵ノ印章ヲ偽造セシメ之ヲ携へ全月十九日同銀行支店ニ赴キ同所ニ於テ擅ニ李泰淵名義ノ金三千圓ノ電信送金ヲ受領シタル旨ノ領收證ヲ成シ其名下ニ前示偽造印ヲ押捺シ其偽造ヲ完成シ同日同銀行支店ニ提出行使シ金三千圓ヲ受預シ之ヲ騙取シ次テ犯意ヲ繼續シテ同日其住所ニ於テ前示趙濟元發ト認ムヘキ趙鍾緒ニ宛テタル金三千圓ヲ領收シタルモ尚金二千五百圓不足ナルヲ以テ至急爲替ヲ以テ送付スヘキ旨ノ電報頗信紙一通ヲ偽造シ之ヲ同日同郵便局ニ提出行使シ同月二十日同ク住所ニ於テ趙濟元發ト認ムヘキ趙鍾緒ニ宛テタル金二千五百圓ヲ至急送付スヘキ旨ノ電報頗信紙一通ヲ偽造シ同日同郵便局ニ提出行使シ各其ノ旨ノ虛偽ノ電報ヲ發セシメタルニ趙鍾緒ハ之ヲ信シ其後金一千五百圓ヲ同ク漢城銀行ノ手ヲ經テ慶尚農工銀行晋州支店ニ宛テ電信送金ヲ爲シタルヨリ同銀行支店ハ其旨ノ通知書ヲ被告ノ住所ニ發送シタルヲ以テ被告成樂馨ハ其金錢ノ送付アリタルコトヲ知リ同月二十一

ノ下ニ支那國ト中韓誼邦條約ト稱スル支那國ハ韓國ニ革命戰爭起ル際ハ軍資及兵器ヲ供給スヘキ趣旨ヲ有スル密約ヲ未來ノ君主トシテ推戴スヘキ李太王ノ委任ヲ受ケ締結スルコトニ一決シ被告成樂馨ハ同團體ノ外交部長トナリ其密約締結ノ任ニ當ルコトトナリタルヨリ先ツ李太王ノ密旨ヲ受クヘキ準備トシテ同年陰十二月中豫テ朝鮮内地ニ於ケル同志ト認メタル被告邊錫鵬ニ宛テ前示ノ計畫ヲ説キ同志ヲ糾合スヘキ旨ノ通信（領第六二九號ノ八）ヲ發シタルニ被告邊錫鵬ハ之ヲ受取り各同志ニ示シタリ次テ被告成樂馨ハ同四年陰三月中豫テ日韓併合ヲ不快トシ支那國ニ逃走シ奉天附近ヲ彷徨セル被告金冑元ニ對シ前示上海會議ノ計畫ヲ説キタルニ同人ハ其擧ヲ賛シ之ニ加盟シ同團體ノ漢口支部長トナルヘキ旨ヲ承諾シタリ而シテ被告成樂馨ハ前示李太王ノ密旨ヲ受クヘク被告金冑元ト共ニ京城ニ出ツルコトナリ被告成樂馨ハ同年七月三日（陰五月二十五日）京城ニ出テ次テ同月十四日（陰六月三日）被告金冑元ノ着京スルヤ同月十九日（陰六月八日）頃被告成樂馨金冑元ハ相携へ被告邊錫鵬方ニ赴キ同人ニ説シ前示ノ計畫ヲ説キタルニ同人ハ之ヲ賛シ且被告成樂馨トシ前示ノ計畫ヲ説キタルニ同人ハ之ヲ賛シ且被告成樂馨ト

日前示印章ヲ携へ同銀行支店ニ赴キ同所ニ於テ擅ニ李泰淵名義ノ金一千五百圓ノ電信送金ヲ受領シタル旨ノ領收證ヲ作製シ其名下ニ前示偽造印ヲ押捺シ其偽造ヲ完成シ同日同銀行支店ニ提出行使シ金一千五百圓ヲ受領シ之ヲ騙取シタリ而シテ被告成樂馨ハ前示金四千五百圓ヲ懷ニン釜山、清津、會寧等ヲ經テ支那國北間島ニ渡リ同地ニ學校ヲ設ケ其子弟ニ對シ排日思想ヲ鼓吹シ次テ北京ニ出テ同地ニ在ル同志及支那國官吏ト相往來シ次テ青島ニ赴キ時機ヲ窺ヒ居リタルニ大正三年七月頃歐洲戰爭起リ次テ帝國ハ獨逸國ニ對シ戰ヲ宣シ青島ノ攻擊ニ着手スルヤ遁カレテ北京ニ歸リ次テ青島陷落スルヤ同年陰十月中上海ニ於テ支那國ニ滯在セル志及露國ヨリ來到セル同志ト相會シ協議ノ上東洋ニ於テ青島ノ陷落アルモ歐洲戰爭ハ獨逸ノ勝利ニ歸スヘシ而シテ日本ハ青島陷落ニ乘シ支那ニ對シ過大ノ要求ヲ爲スヘク然ルトキハ支那國官民ハ之ヲ怨シ不日戰勝スヘキ獨逸國ト相結托シ日本ニ敵対スヘシ其機ニ乘シ同志ハ李太王ヲ擁シ舊韓國ノ獨立ヲ計畫スヘク新韓革命黨ナル秘密團體ヲ組織シ一面支那國米國露國其他ニ散在セル同志ヲ糾合シ一面軍資兵器等ヲ準備スルコトナリ軍資兵器等準備ノ爲獨逸國保證

次テ被告邊錫鵬ハ同月二十頃自宅ニ於テ豫テ國權恢復ノ意思ヲ有シタル被告沈仁澤ニ對シ被告成樂馨ノ前示計畫ヲ説キ中韓誼邦條約締結ニ要スル李太王ノ密旨ヲ受クヘク奔走中ナルモ同王ニ接近スヘク何等ノ手蔓ナキヲ以テ汝ニ於テ

李壩公其他ニ對シ相當手段ヲ講シ與レヘキ旨委嘱シタルニ被告沈仁澤ハ其ノ擧ヲ贊シ之ヲ承諾シ被告成樂馨ノ前示計畫ヲ説キ被告金思濬ハ其ノ從弟ナル被告金思洪ニ對シ協議ノ上一面前示警覺書ヲ李太王ニ提供シ一面李壩公ヲ介シ李太王ヲ説得スルコトトシ先ツ李壩公ニ接近スヘク同公妃ノ父ナル被告金思濬ノ四寸ノ從弟ナル被告金思洪ニ對シ前示ノ計畫ヲ説キ被告成樂馨ヲ李壩公ニ接近セシムヘク其捷經トシテ被告金思濬ニ面會セシムヘキ機會ヲ與ヘラレタキ旨委嘱シタルニ被告金思洪ハ其擧ヲ贊シ之ニ應シ同月二十二日（陰六月十一日）頃被告金思濬方ニ赴キ同人ニ對シ被告成樂馨ノ前示計畫ヲ説キタルニ同人モ亦之ヲ贊シ被告成樂馨ト面會スルコトトナリタルヨリ被告成樂馨ハ同月二十六日（陰六月十五日）午前十時頃被告金思洪ニ伴ハレ前示上海會議ノ結果ニ成レル被告金胄元ノ淨書セル中韓誼邦條約案ヲ携ヘ被告金思濬方ニ赴キ同家奥ノ間ナル同人居室ニ於テ同人ト會シ前示ノ計畫ヲ説キ之ヲ李太王ニ達セシム

ヘク前示條約案ヲ李壩公ニ提供セラレ度旨ヲ申出テ之ヲ交付シタルニ被告金思濬ハ其計畫ヲ賞賛シ前示條約案ハ直ニ李壩公ニ提供スヘシ然ルトキハ定メテ良好ナル結果ヲ得ラルヘキ旨ヲ答ヘ之ヲ受取リタリ

一面被告沈仁澤ハ前示條約締結ニ關スル密旨ヲ受クヘク前示警覺書ヲ李太王ニ提供セントシ豫テ日韓併合ニ悦服セサル被告鄭駟永ニ對シ前示計畫ヲ説キ相當手段ヲ講セラレ度旨ヲ委嘱シタル處被告鄭駟永ハ之ヲ贊シ豫テ親交アリテ德壽宮ニ多少ノ緣故ヲ有スル被告金勝鉉ニ對シ前示計畫ヲ説キ相當手段ヲ講セラレ度旨轉嘱シタルニ被告金勝鉉モ亦之ヲ贊シ同月二十四日（陰六月十三日）頃情ヲ知ラサル被告李慶昌ヲシテ德壽宮内丞ナル被告廉徳臣ヲ自宅ニ呼寄セ前示ノ計畫ヲ告ケ前示警覺書ヲ李太王ニ提供シ與レヘキ旨ヲ贊シタルニ被告廉徳臣ハ其擧ヲ贊シ之ヲ承諾シタルヨリ被告成樂馨金胄元沈仁澤金勝鉉等ハ協議ノ上中獨（支那獨逸ヲ指ス）日本ヲ聯攻スル大勢ト題スル前示警覺書ノ趣旨ヲ一層簡明ニ記載セル文書ヲ作成シ同月二十六日（陰六月五日）午前一時頃之ヲ被告廉徳臣ニ交付シ且同人ニ對シ右文書ヲ李太王ニ提供シ受領徵憑ノ下付ヲ受ケ來ルヘク尚次回

ニ中韓誼邦條約案ヲ提供スヘキ旨申上ケ置クヘキ旨ヲ命シタルヨリ被告廉徳臣ハ之ヲ承諾シ前示文書ヲ受取り同日午後十二時頃德壽宮咸寧殿ニ於テ之ヲ李太王ニ提供シ前示ノ申上ヲ爲シ其受領徵憑ヲ受取リタルモノニシテ政治ニ關シ不穩ノ動作ヲ爲シ治安ヲ妨害シタルモノトス

### （中 略）

法ニ照スルニ被告成樂馨ノ各私文書偽造ノ所爲ハ各刑法第百五十九條第一項及各同條第三項ニ該當シ其各行使ノ所爲ハ同法第一百六十條第一項第一百五十九條第一項及同條第三項ニ該當シ各虛偽ノ電報ヲ發シタル所爲ハ各電信法第三十條第一項刑法施行法第十九條第二條第二十條ニ該當シ各詐欺ノ所爲ハ同法第二百四十六條第一項ニ該當シ各連續犯ナルヲ以テ同法第五十五條ニヨリ各一罪トシテ處斷スヘク以上各所爲間ニハ手段結果ノ關係アルヲ以テ同法第五十四條第一項第十條第二項ニヨリ最モ重キ詐欺ノ罪ニ科スヘキ刑ヲ以テ處斷スヘク被告十一名保安法違反ノ所爲ハ同法第七條朝鮮刑事令第四十二條ニ該當シ二年以下ノ懲役刑ヲ選擇スヘク依テ被告成樂馨以外ノ各報告ニ對シテハ各其刑ノ範圍内ニ於テ處斷スヘク被告成樂馨ハ刑法第四十五條ニヨリ

十二 朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件闇与等ニ關スル件 二三七

二三七

リニ罪ノ併合ナルヲ以テ同法第四十七條第十條第二項ニヨリ重キ詐欺ノ罪ニ科スヘキ刑ニ從ヒ同法第四十七條但書ノ制限内ニ於テ其加重ヲ爲シ其ノ刑ノ範圍内ニ於テ處斷スク

被告李慶昌カ被告成樂馨等ノ前示計畫ニ贊同シ被告金勝鉉ノ旨ヲ承ケ被告廉徳臣ヲ説得シ同人ヲシテ前示警覺書ヲ李太王ニ提供スルニ至ラシメタリトノ公訴事實ハ之ヲ認ムヘキ證憑十分ナラサルヲ以テ刑事訴訟法第二百二十四條ニヨリ無罪ヲ言渡スヘク

押收物件中領第六二九號ノ一、十三ナル警覺書各一通同號ノ八ナル書面一通ハ犯罪行爲ニ供シ又ハ供セントシタル被告等ノ所有物ナルヲ以テ刑法第十九條第一項第二號第二項ニヨリ各之ヲ沒收スヘク其餘ハ沒收ニ係ラサルヲ以テ刑事訴訟法第二百二條ニヨリ總テ所有者ニ還付スヘキモノトシ主文ノ如ク判決ス

大正四年十月三十日

京城地方法院

朝鮮總督府判事 塚原友太郎

三八七

(附屬書二)

十一月十七日寺内朝鮮總督ヨリ大隈總理大臣宛報告寫  
司秘第二七四號

大正四年十一月十七日

朝鮮總督 伯爵 寺 内 正 納  
内閣總理大臣伯爵 大隈重信殿

大正四年十一月十五日付司秘第二七三號ヲ以テ成樂馨等ニ  
對スル保安法違反被告事件ノ處分結果並被告男爵金思濬ヨ  
リ控訴ヲ申立テタル件及報告置候處同被告ハ本月九日控訴  
ノ取下ヲ爲シ該判決確定候條及報告候也

### 事項一三 露国皇族「ジョルジユ、ミハイロウイツチ」太公訪日一件

二三八 十二月十三日

在露国本野大使ヨリ  
石井外務大臣宛(電報)

露国皇族ジョルジユ、ミハイロウイツチ殿下

ヲ本邦へ御差遣ノ件

第一一八一号

十二月十三日大本營ヨリ出京シタル中島少将ノ内話ニ依レ  
ハ George Mikhailovitch 殿下陛下ノ命ヲ受ケ十二月末頃  
日本へ向ケ御出発ノ予定ニテ同殿下ノ御使命ハ我天皇陛下  
御即位ヲ御満足ニ済シ給ヒタルニ付祝意ヲ表スルト同時ニ  
開戦以来日本カ露国ニ対シ尽シタル好意ニ対シ感謝ノ意ヲ  
表スル為メナリト云フ本件ハ外務大臣モ未タ承知シ居ラサ  
ル様子ナリ殿下ハ来ル十七日大本營ヨリ御帰京ノ上外務大  
臣ト御打合セ相成ルヘシト思考ス殿下ノ御旅行ニ付何等御  
考ノ次第モアラハ本官心得迄ニ至急御内示アリタシ

~~~~~

第一一九三号

往電一一八一号ニ閑シ十二月十七日中島少将 George  
Mikhailovitch 殿下ノ午餐ニ招カレ其節殿下ノ御話ニ依  
レハ殿トハ十二月二十八日御出発ノ事ニ御内定外務省ヨリ  
ハ「コザコウ」隨行ノ由ナリ本件ニ閑シ何カ在日本露国大  
使ヨリ交渉アリシヤ我宮中ノ御都合ハ如何至急何分ノ御回  
電アリタシ

二四〇 十二月十九日

在露国本野大使ヨリ  
石井外務大臣宛(電報)

露国皇族御一行ノ訪日経路等ニ閑シ露国外務  
当局内話ノ件

第一二〇一号

往電第一一九三号ニ閑シ殿下ノ御一行ハ朝鮮經由ナルモ京  
城ニハ下車セス直ニ馬関ヨリ東京ニ向ハル東京滯在ハ二三  
日三九 十二月十七日

在露国本野大使ヨリ  
石井外務大臣宛(電報)

一二三 露国皇族「ジョルジユ、ミハイロウイツチ」太公訪日一件

二三八 二三九 二四〇

三八九